

わ

が

街

わ

が

故

郷

ミネベア株式会社 浜松工場と袋井市

ミネベア株式会社の浜松工場と同工場が所在する袋井市についてご紹介いたします。

工場住所

〒437-1193

静岡県袋井市浅名1743-1

ミネベア株式会社 浜松工場

工場沿革

当工場の沿革は、次の通りです。

- 1986年 電子デバイス製品市場への参入を目的として、約100名の技術者を新規採用し、開発技術センターとミネベアエレクトロニクス株式会社を設立。
- 1988年 タイ国ロブリ県に量産工場としてミネベアエレクトロニクス（タイランド）を設立。
- 1999年 ミネベア株式会社開発技術センターを浜松製作所R＆Dセンターに改称。
- 2003年 スピーカー事業部が甲府から浜松工場へ移管。
- 2005年 ミネベアエレクトロニクス株式会社をミネベア株式会社に吸収合併。

現在、電子デバイス事業部、スピーカー事業部、製造本部浜松工場、オプトデバイス開発部門、

エレクトロニクス開発部門、回転機器基礎技術開発部門及び間接部門の計360名がおります。



浜松工場

浜松工場の役割

当工場の役割は電子デバイス製品のマザー工場です。当社の電子デバイスは、小型液晶用LED（発光ダイオード）バックライト、CCFL（冷陰極管）バックライトインバーター、バラスト、FDD（フロッピーディスクドライブ）用磁気ヘッド、MOD（光磁気ディスクドライブ）、リアプロジェクター用カラーホイールです。

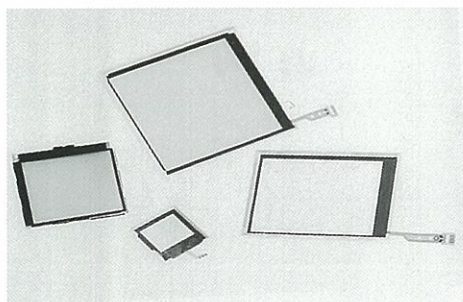
小型液晶用LEDバックライト事業には、約5年前に最後発で参入しながら、現在シェア約10%と短期間でトップメーカーの一つになりました。これは、当社が高い要素技術を保有し、市場動向と技術動向を反映したロードマップを作成して戦略的な製品開発を行ったためです。

小型液晶用LEDバックライトの導光板の設

計では薄型にすることが求められていますが、単純に薄くするだけでは光源から液晶画面に導かれる光の量が減ってしまいます。このため、精密加工技術、光学シミュレーション技術、光学薄膜技術などが高いレベルで求められます。

当社には、主力であるボールベアリングや小型モーター製品、FDDやMODなどの経験で培われたこれらの高度な要素技術が蓄積されており、その活用が可能だったのです。

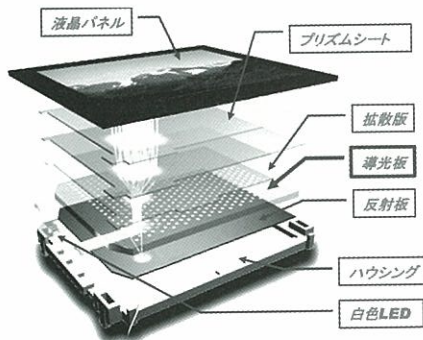
製品開発ロードマップでは、ディスプレイ市場全体の動向を捉え、高い競争力を発揮できる製品開発を行っています。



LEDバックライト

LEDバックライト構造図

液晶ディスプレイは自己発光しないために背面配置しているバックライトが照明として必要不可欠になります。一般にバックライトの性能は光源であるLEDと光学フィルム、そして導光板の特性に大きく左右されるといわれます。



LEDバックライト構造図

特に導光板には、金型をはじめとする精密機械加工技術、光学シミュレーション技術、光学薄膜技術など当社が蓄積する技術・ノウハウを効果的に活かすことができました。

袋井市の紹介

袋井市は、温暖で穏やかな気候に恵まれ、緑豊かな地域です。このため、四季を通じて美しい花々を観賞できます。特に、可睡斎ばたん苑、可睡ゆりの園は見事です。



ぼたん苑

また、袋井市で生産される茶は、恵まれた気候、降水量、土質に加えて澄んだ空気などの好条件によって出来上がります。風味豊かで良質のこくとうま味で評判を得ています。



茶摘み

歴史の薫るまち

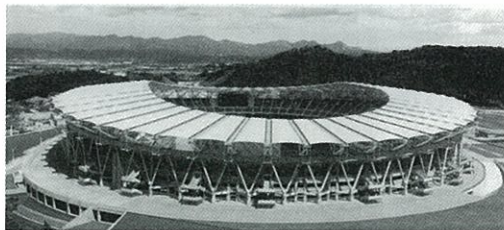
江戸時代には、袋井宿は、江戸日本橋を起点に京都三条大橋までの五十三宿の二十七番目のどまん中の宿にあたります。元和二年（1616）

に開設され、宿場は街道を往来する旅人の宿泊、休憩、人馬による輸送などを扱っていました。



袋井宿本陣公園

また、現在では静岡スタジアムエコパを中心とした、スポーツを通じての人々の交流など、健康文化都市として歩んでいます。



エコパ

(写真提供：袋井市)